

## 令和3年度全国中学校体育大会

### 第51回全国中学校バドミントン大会 参加細則

- 1 団体戦でベンチ入りができる者は、監督、マネージャーまたはコーチ、選手とする。団体戦のマネージャーは、出場校の教員・部活動指導員又は生徒とする。外部指導者（以後コーチ）は、日常の部活動指導に携わっている者とし、出場校の校長が認めた者とする。その際、コーチは「外部指導者（コーチ）確認書（団体戦用）」を大会参加申込みと一緒に送付すること。なお、同一人が複数校のコーチにはなれない。また、中学校の教職員はコーチにはなれない。
- 2 団体戦の選手変更及び監督、マネージャーまたはコーチの変更については、疾病や傷害などの特殊な場合のみとし、競技開始1時間前（8月20日（金）11:00）までに書面（所定用紙）によって大会事務局に申し出る。なお、選手の追加は認めない。
- 3 コーチ席は、（公財）日本バドミントン協会の「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」に従い1席とする。通常、中体連主催の大会では、監督のベンチ（コーチ席）入りを基本としているが、本大会においてはコーチ席1席のため、監督に限らず、以下の者のベンチ入りを可能とする。但し、成人がコーチ席に入ることを原則とする。

団体戦・監督、コーチ、登録してあるマネージャー（出場校の教員又は生徒）、選手

個人戦・監督、団体戦に登録してあるマネージャー・コーチ・選手（団体戦との重複出場の場合）、  
入場許可申請者。

- 4 個人戦の入場許可申請は、別紙の所定用紙にて行うこと。また、大会参加申込みと一緒に送付すること。入場許可申請を受ける者は、出場校以外の入場許可申請をすることができない。入場許可申請は男女別の個人戦とし、それぞれ1名ずつの申請を認める。
- 5 依頼監督は、試合時のベンチ入りを認める。但し、依頼監督は所定の手続きを行い、大会実行委員会が承認した者とする。
- 6 監督、マネージャーまたはコーチ、選手は、本大会が全国の中学校生徒を基盤とした学校教育活動下での大会であることを認識し、その歴史的な意義や品位を保つために、服装等を整えるとともに、大会運営に協力すること。なお、受付後の入館時には、大会実行委員会から発行されたIDカードを必ず着用すること。

7 表彰には、団体戦・個人戦ともに1位～3位に入賞した選手・監督・マネージャーまたはコーチが参加すること。

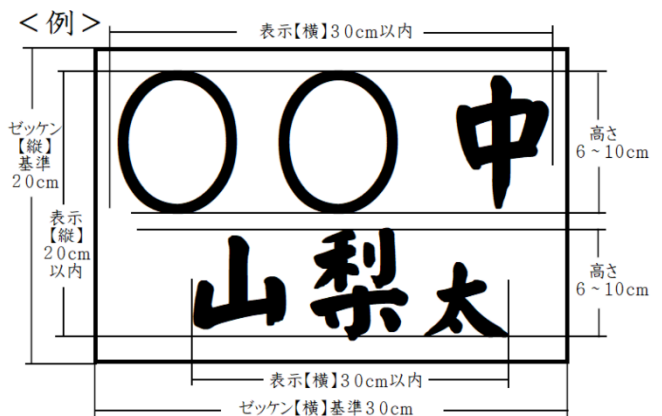
8 使用用器具は、(公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具とする。ただし、シャトルの銘柄は次の通りとし、室温にあったものとする。

【大会使用の銘柄 (予定)】 トーナメント (ヨネックス) SKYCROSS EX (ミズノ)  
ネオ・フェザー・プラチナ (ゴーセン) MASTER ACE (VICTOR)

9 防汗や整髪のために、ハチマキの使用は認めるが、体裁良く結ぶこと。インナーについては、露出する場合は、審査合格品とする。儀礼(表彰、試合入退場・あいさつ時)の際は、上衣の裾は下衣の中に入れること。

10 サービス時シャトル全体が必ずコート面から1.15m以下で行うこと。判定装置での測定は団体・個人とも準決勝から行う。

11 上衣の背面中央に必ず中学校名及び姓を日本語(楷書)で明記(上段:学校名、下段:姓)し、文字の色は上衣に鮮明に映えるものとする。チーム内に同姓がいる場合には名前の一文字目を小さく入れること。ゼッケンを使用する場合、白の布地で縦20cm、横30cmの大きさを基準とする。(ゼッケンの場合の文字の色は、黒色または濃紺色とする。)



\* 令和元年度全国大会で認められていたウェア表示・ゼッケンについては、令和3年度の全国大会において、3年生のみ使用を認める。

12 試合前の練習時間については、団体戦はマッチ前に2分ずつ行う。個人戦については同時に3分間とする。シングルスは対戦相手同士で行う。シャトルは本部で用意する。

朝の練習割当時間は、シングルス選手はヒッティングパートナー(練習相手)を帯同させることを可能とする。ただし、ヒッティングパートナーは、会場に入場が認められている者とする。

13 団体戦については、試合の進行状況により、最初から2、3コート並行で実施することがある。また、2試合先取した時点で、試合は打ち切りとし、その後の試合は行わない。

14 すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが 11 点になったとき、60 秒を超えないインターバルを認める。また、第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に 120 秒を超えないインターバルを認める。

15 シャトルがインプレーでない時に限り、プレイヤーはマッチ（試合）中のアドバイスを受けることができる。プレイヤーはインターバルを除き、マッチ（試合）中、主審の許可なしにコートを離れてはならない。

16 競技中の汗拭きは、マッチ（試合）を中断しないように心掛ける。また、水分補給については、主審の許可を得て行い、許可されたものを使用すること。

17 競技場は、コートマットを使用する。また、気温の上昇に応じて空調（冷房）を入れる。

18 練習会場はブロック別に設定しているので、詳しくは別紙の練習会場一覧表を参照すること。練習会場では、係員の指示に従うこと。

19 宿泊については、別紙宿泊要項による。適切な危機管理対応（感染症・自然災害等）を確保するため、必ず大会実行委員会指定の業者を通して申し込むこと（指定外の宿泊施設の利用は認めない）。

20 参加料の納入は、宿泊・昼食弁当の手配業務を委託した株式会社日本旅行の参加料代行收受システムを利用し、振込締め切りの8月18日（水）12時（正午）までに確実に行うこと。また、振込み手数料は振込み者が負担すること。

21 出場選手名簿は、事前に大会ホームページに掲載する。プログラム等に誤字・脱字がないように留意するが、訂正があればホームページに掲載する書面にて競技開始（8月20日（金）12:00）前に申し出ること。大会本部より正誤表等にて訂正する。

## 2.2 諸会議及び開閉会式について

(1) 監督会議は行わない。

質問がある場合は、事前に大会事務局に連絡すること。事前に寄せられた質問については随時回答し、周知すべき事項については資料およびホームページ等に掲載する。

(2) 開会式および閉会式は行わない。

(3) 各種目が終了し、準備ができ次第、随時表彰を行う。

23 受付時間は下表にて確認すること。

	選手	監督	来賓・大会役員 視察員	報道関係者・その他
8月19日(木)	13時～16時			
8月20日(金)	9時～随時			随時
8月21日(土) 以降	各日7時50分から設定するが、大会期間中の受付は 初回の1度のみで良い(ID着用のこと)			※その都度行うこと

(1) 受付場所

- ①2階アリーナ入口 チーム関係者(出場登録選手・監督・コーチ・マネージャー・入場許可申請者)
- ②1階ロビー 大会関係者(来賓・大会役員・ブロック長・競技役員・審判員・視察員・協賛業者・業者・報道等)

(2) 大会会場および練習会場の入り口で、入場時の検温を行い、発熱者(37.5℃以上)の入場を禁止する。

なお、大会期間中、選手や引率者等に風邪の症状(発熱(37.5℃以上)、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等)や倦怠感、味覚嗅覚の異常など、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状がある場合、そのチームの大会参加を認めず、棄権とする。また、対戦した相手チームの選手や引率者などに同様の症状がある場合、そのチームの大会参加を認めず、棄権とすることもあり得る。

(3) 選手・監督受付は、選手が競技に参加する1時間前までに終わらせること。

(4) 引率責任者は、チーム関係者全員分の体調を「学校同行者体調記録表」(別紙2)にまとめ、大会会場に来場する各日、受付に提出する。

(5) 大会関係者は、「来場者体調記録表」(別紙3)を記入し、大会会場に来場する各日、受付に提出する。

24 開催地のゴミ分別収集に協力すること。宿泊先の部屋から出る時には、エアコン、テレビ、ライトのスイッチを消すこと。節電や節約に協力すること。

小瀬スポーツ公園体育館内の全てのフロアは、土足禁止になっている。入り口で体育館シューズにはき替えて、各自の靴は靴袋に入れるなどして、確実に管理をすること。

大会2日目(21日(土))の夜に同スポーツ公園内の陸上競技場でJリーグの試合があるため、周辺道路及び駐車場の混雑が予想される。昼過ぎ以降に会場を出た場合には、混雑のため戻るのに時間を要するので注意すること。

また、同日は、石和温泉の花火大会があるため夕方以降、混雑が予想されるので、石和温泉に宿泊する出場校は、宿舎への帰着に時間を要することに注意すること。